学校長の願い
 自分の足で歩き、自分の目で、耳で、心でとらえ、自分の頭でじっくりと考えて粘り強く取り組んでください。そして、よりよい自分、新しい自分づくりのために、人と大いに関わり、新しい世界への扉を開いてください。最終的に、自分で決断し、自分で実行する社会的に自立した人になってほしいと願っています。

《目指す生徒の姿》
 ○爽やかに、弾けるあいさつができる生徒
 ○自ら計画し、学校でも家庭でも粘り強く、学び続けることができる生徒
 ○安心な学校での生活を自ら作ろうとする生徒
 ○豊かな人権感覚を持ち、差別やいじめ、からかいを見抜き、許さない生徒

昨年度の学校評価(保護者)から
 ・生徒がきまりやルール・マナーを守って生活を送れていることへの評価
 ・学校は子どもや保護者の相談に丁寧に対応し、温かい関係や雰囲気をつくろうと努力していることへの評価
 ・自分から積極的に学習に取り組み、自分の考えや思いを進んで発言したり、表現したりすることへの期待
 ・計画・工夫して家庭学習へ取り組めるようになることへの期待

自主 連帯 創造 誠実

本年度の重点
 自分を鍛える
 人のために働く
 人と協働して創る

- 生徒指導・生徒理解**
- ①自己肯定感の育成
 - やる気と勇気をもってことにあたる意欲を培う。
 - 自分らしさ、自分がいることの価値を尊重する。
 - ②強い体と心の育成
 - 自分を鍛える心と実践
 - 自分や人を大切にできる力
 - ③共感的、受容的支援
 - 背景にあるものを大切に思いや考えを傾聴する。
 - 向き合う時間の充実
 - ④生徒会活動の充実
 - 挨拶、清掃等日常活動

安心・安全に
 学びに専心できる環境
 ・信頼できる先生、仲間
 ・向き合う時間の充実
 ・自治活動の充実

行き届いた学習指導
 ・主体的、対話的な学び
 ・生徒の声や響く授業づくり
 ・見とけや補充の充実

社会や地域との連携
 ・原村学を核とした展開
 ・人、地域との繋がり
 ・ボランティア、貢献の思いと行為

- 開かれた学校・家庭地域との連携
- ①発信と参画
 - 学校便り(年4回)、HPによる発信
 - 保護者アンケート、学校評議員会
 - ②行事、学習等運営協力
 - 原村学への理解と参画
 - 強歩大会、もみの木祭、平和学習
 - 農業体験、福祉教育
ボランティア体験、読み聞かせ
 - ③危機管理、安全指導
 - 交通安全指導、避難、防災訓練
 - 情報教育(SNS,モラル,家庭との連携)
 - 人権教育、性教育
 - ④原村コミュニティ
 - 原村教育研究会(幼保小中連携)
 - 原っこ保健・給食委・民生委
 - 青少年健全育成委、部活動運営委

◇学習指導のねらい(目標)

- *〇〇科における見方、考え方の捉えと学びに向かう力の育成
- *単元を通じた学びの捉えと定着の確認
- *必要感に根差し、できた、わかった、楽しいを実感できる授業

学びの質を高める3カ条
 聴く…心と体で誠実に。 つなげる…自分と仲間と、今と既習と。
 伝える…筋道立てて、分かるように。

◇具体的な取組

日常授業の充実
 生徒の声が響く授業(学び合い)
 めりはりのある多様な学習形態
 生徒に活動を委ねる時間

補充学習、教育相談の充実
 のびゆく時間の活用
 相談タイムの活用
 学年会、教科会での共有と運用

↑

核となる単元の設定
 意欲や必要感に根差した展開
 体験的、探究的な学び→表現
 横断的な学びの構築

家庭学習への支援
 授業と家庭学習の連動
 徹底した復習の実践
 教科会、学年会での共有と運用

↑

◇授業力・学力の向上の検証と研修

- 校内公開授業の授業づくりと成果と課題の共有
- 新学習指導要領「学力の三要素」の研究

- ◇道徳教育(特別な教科 道徳)**
- 対話や議論から多様な考え方を取り込む授業
 - 効果的なT・Tや意識の変容の見える板書の研究
 - 学び、深まりの見とりと評価の研究
- ◇特別活動**
- 自己をみつめ、安心して自己を語る集団づくり
 - 多様なコミュニケーション活動の創造と推進
- ◇総合的な学習の時間**
- 問いがつながる原村学(キャリア教育)の推進
 - 探求的な学び『カリキュラムマネジメント』推進
- ◇特別支援教育(インクルーシブ教育)**
- 個別の指導計画の吟味、作成と評価
 - 皆が「できる、わかる」授業づくり・環境整備
- ◇人権教育・性教育**
- 生・性への慈しみの心を育てる指導
 - 自己を大切に、他者を尊ぶ心情と態度の育成
 - いじめに気づき、なくそうとする自治活動

◎各種調査分析、生徒・教職員の実態から、強みの一層の強化と課題の克服 ⇒ 数値を上げる

H29 学力学習状況調査 本校の強み→ (原中 県 全国)	地域社会等でボランティアに参加した 55% 42% 50%	人が困っているとき、進んで助ける 45% 38% 36%	本校の課題→	授業や課外活動で地域の人やもの関わった 7% 18% 19%	考えが伝わるよう工夫して発表した 7% 16% 17%
-------------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	--------	-----------------------------------	--------------------------------

職場環境の充実 (生徒の学びの質を深めるための働き方改革の推進)

- ・連携、連絡し合い、教育の分担化を明確にする…学校にしかできないもの、地域に協力をいただくもの、地域・家庭にお任せするもの
- ・本当に必要なことを浮き彫りにする…「よい授業をする」「安心・安全を確保する」ための働き方改革を研究・実践する。